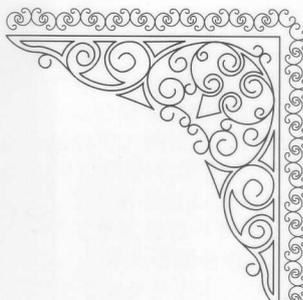
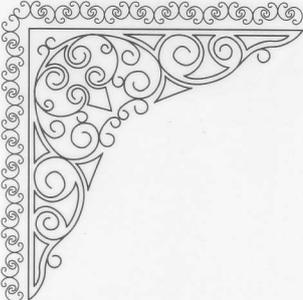


神戸大学交響楽団

第59回定期演奏会





PROGRAM

神戸大学交響楽団 第59回定期演奏会

Kobe University Symphony Orchestra 59th Regular Concert

スラヴ行進曲

Marche Slave

チャイコフスキー

P. I. Tchaikovsky

指揮 木下麻由加
コンサートミストレス 足立 美峰

交響曲第1番 変ロ長調 《春》

Symphonie Nr.1 Bb-dur "Frühling"

シューマン

R. Schumann

指揮 新田 ユリ
コンサートマスター 北野 堅祐

交響曲第4番 《消しがたきもの》

Symphony No.4 "The Inextinguishable"

ニルセン

C. Nielsen

指揮 新田 ユリ
コンサートマスター 江口 雄人



2009年12月25日(金) 午後7時開演

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

共催=兵庫県オーケストラ協議会 後援=兵庫県・神戸市民文化復興財団・神戸新聞社



客演指揮 新田 ユリ (にっ た ゆり)

国立音楽大学卒業。桐朋学園大学ディプロマコース指揮科入学。

指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に師事。

'90年第40回プザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト。

'91年東京国際音楽コンクール指揮部門第2位。'91年に東京交響楽団を指揮してデビュー。その後も東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、札幌交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪センチュリー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などを指揮。また東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団、東京吹奏楽団など吹奏楽での活動も行っており、'94年にキングレコードより東京佼成ウインドオーケストラを指揮して6枚リリース。'09年10月には東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団を指揮したCDが3枚ポニーキャニオンよりリリースされる。

オペラでは、横浜シティオペラ、大田区民オペラ協議会で モーツァルトの5大オペラ「夕鶴」などを指揮。

'00年10月～'01年10月、文化庁芸術家在外研修員としてフィンランドに派遣され、音楽監督オスモ・ヴァンスカ氏のもとラハティ交響楽団で研修。フィンランド国立歌劇場とサヴォンリンナ音楽祭においても、オスモ・ヴァンスカ氏のアシスタントを務める。

これまでにクオピオ交響楽団、ミッケリ市管弦楽団、フィンランド海軍吹奏楽団、ラ・テンペスタ、クリスチャンサン交響楽団などフィンランドはじめ北欧諸国へ客演を続けている。

2005年～2007年オウルンサロ音楽祭へ招聘、2006年リエクサ・プラスウィーク客演。

2005年9月にフィンランド日本友好協会よりラムステッド基金奨学金を授与される。また2006年4月にはオクタヴィア・クリストンよりヨウコ・ハルヤンネ氏（フィンランド放送交響楽団ソロ首席トランペット奏者）との共演CD<Symbiosis>がリリースされた。

2006年、2007年には東京新聞フォーラム「指揮者がみたフィンランド」にて講演と演奏のプロデュース・指揮を務めた。2007年4月より2009年3月まで中日新聞「エンタ目」に月1度コラムを執筆。

プログラムノートの執筆も多く自分の公演のほか、北欧音楽を取り上げた2007年5月紀尾井シンフォニエッタ東京、2008年1月NHK交響楽団の定期演奏会を担当。

2008年6月NHK「名曲探偵アマデウス」に出演。シベリウスの「フィンランディア」を特集した番組の解説を務める。日本シベリウス協会理事。国立音楽大学非常勤講師、アイノラ交響楽団正指揮者。

「森と湖の詩サロンコンサート」主宰。公式ホームページ「森と湖の詩」<http://www.yuri-muusikko.com>

※トレーナーの先生方※

ギオルギ・バブアゼ (関西フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター)

徳田 知 希 (大阪シンフォニカー交響楽団 首席トランペット奏者)

村 瀬 司 (大阪シンフォニカー交響楽団 首席クラリネット奏者)

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

俘虜収容所再現演奏会東京公演

青野原俘虜収容所展 in Tokyo 2009



第一次世界大戦当時、青野原（現兵庫県小野市）にドイツ、オーストリア・ハンガリー兵の俘虜収容所がありました。神戸大学と小野市は、地域連携事業の一環としてこの俘虜収容所の調査研究を行っており、その成果を公開してきました。そして今年2009年は、東京・青山のオーストリア大使館に程近いホールにて、展示会が行われることとなりました。

当時の俘虜たちと地元の人々の交流をうかがわせるものとして、収容所内での俘虜たちによる演奏会があり、神戸大学交響楽団はその演奏会を再現するという形で毎年展示・講演会に参加しています。今年は11月7日、当団の有志16名（弦楽器中心の小編成オーケストラ）が東京に派遣され、俘虜収容所再現演奏会を行いました。

演奏会の概要

2009年11月7日(土)

於：東京都港区ドイツ文化会館1階 OAGホール
指揮：木下麻由加

曲目：バグダッドのカリフ（ボアエルデュー作曲）
歌劇「タンホイザー」より

巡礼者の合唱（ワーグナー作曲）

美しく青きドナウ（ヨハン・シュトラウス作曲）

エグモント序曲（ベートーヴェン作曲）

夢想（ヴェータン作曲・ヴァイオリン独奏）

軍隊行進曲（シューベルト作曲）

（アンコール）

歌劇「レーモン」序曲（トマ作曲）



演奏旅行や遠征などの行事のない私たち神戸大学交響楽団にとって、馴染みの少ない東京の地で演奏をさせて頂けるといのはとても貴重な経験です。また、そこでのお客さま方や、神戸大学の卒業生の方々に温かく迎えて頂いたことに、非常に感謝しました。

このように素晴らしい機会を設けて頂いたのも、日頃から当団を応援してくださっている皆様のご支援の賜物と存じます。心から、御礼申し上げます。

この経験を今後の活動に生かして頑張っていきます。今後とも、神戸大学交響楽団をよろしく願いいたします。